

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和3年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2021-2	カメラ画像および複数の観測データを融合した次世代交通計測手法に関する研究開発	東京理科大学 准教授 柳沼 秀樹	B
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>道路ネットワーク上の常時観測データを取得可能とする次世代型交通計測システムの構築を目指し、AI 解析、カメラ画像を活用した交通移動体の高精度検知手法、複数の交通データを融合した交通量等計測データ生成・補正手法の開発に取り組むことを目的とする。</p> <p>&lt;中間評価結果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>費用面も意識しながら実装を見据えた研究を実施されたい。</li> <li>研究成果の対外的な発表、特に、国際会議や国際ジャーナル等での発表を進めて頂く必要があると思われる。</li> <li>カメラ画像の AI 解析については技術が確立されつつあると思うが、すでに存在しているその他の情報を融合することで、より推計の精度を上げることは望ましいものであると思う。今回検討する複数の種類のデータを全て使うのではなくて、出来るだけ少ない労力で効果が上がる方法を示すことが出来ると良いのではないか？</li> <li>人口減少、担い手不足を踏まえると、人手観測の廃止は重要な取り組みであり、当研究による新しい交通計測手法の確立が期待される。</li> </ol> <p>&lt;今後の研究計画・方法への指摘事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実務において、特に効率的・効果的に交通状態の把握は課題であるため、「AI 解析とカメラ画像を活用した交通移動体の高精度検知手法の開発」は重要と考えるので、研究を加速化して頂きたい。</li> </ul>			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第45回新道路技術会議において審議したものである。